新東消防署　工事風景　３巻目

○　令和８年（2026年）10月１日撮影

【新庁舎全景】
　敷地を囲んでいた仮囲いの多くが撤去され、札幌新道側から新庁舎の立派な姿がついに顔をのぞかせました！





ホール側から撮影



庁舎正面玄関



消防車や救急車が出入りしやすいように縁石の切り下げ工事も完了！



地下タンクもコンクリートが打設されてます。



庁舎敷地内には、消火栓も完備



これは門柱でしょうか？？
「札幌市東消防署」と銘板がつくのかどうか、出来上がりが楽しみです。

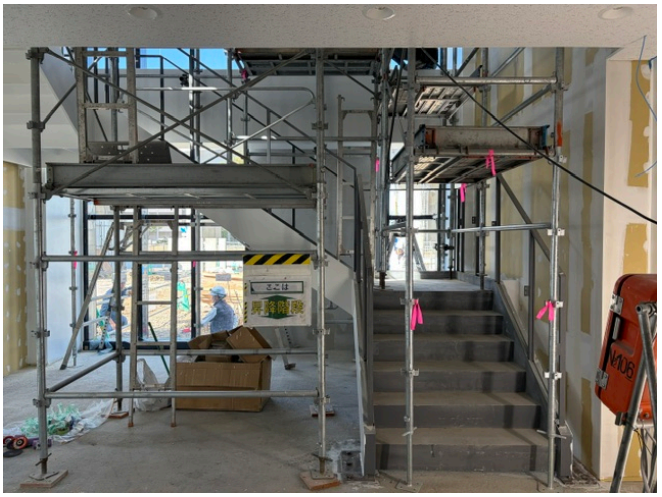


新庁舎の裏面も足場と仮囲いが撤去され、お披露目となりました。

【庁舎１階の様子】



風除室の様子です。
新庁舎には、建物の室温環境を快適に保つため、風除室が設置されています。

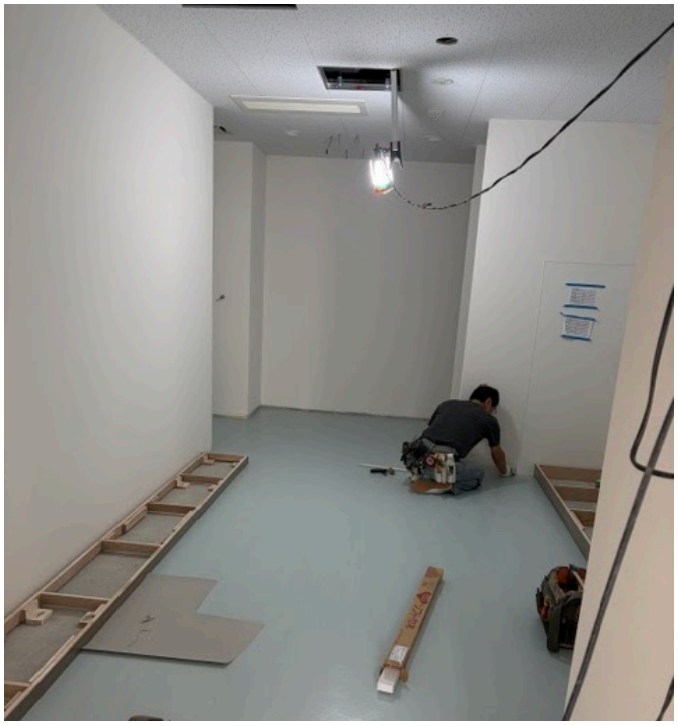


ついに1階ホールに階段が設置されました。
この階段は、来庁者と署員が使用するメイン階段になる予定です。

【庁舎２階の様子】



個室型の仮眠室も完成に近づいています。これからベッドやロッカーが設置される予定です。



シャワー室も完備される洗面室の様子です。
洗面台が設置されるまで、もう少し時間がかかりそうですね。



屋内訓練施設の様子です。
過酷な訓練でも耐えられるような造りになってますね。

【庁舎３階の様子】

事務室の様子です。天井部分は照明や空調関係の設置が進み、これから床工事が進みそうな感じです。





事務室への出入口部分です。
事務室と廊下の間には、大きな窓があるため、開放感がありますね。



こちらは24時間勤務の署員が、食事や休憩をする待機室になります。
シンクなどの設備は、これから設置される予定です。



こちらは会議室と消防団本部室です。パーテーションで区切られるため、自由度が高い使い方ができそうです。【庁舎４階の講堂の様子】



講堂は壁や床張りが完了し、全体が白色で統一されているので、とても明るい部屋になっています。写真奥の天井には、スクリーン設置用と思われる穴が開いていました。

○　令和８年（2026年）11月２日撮影

【新庁舎全景】



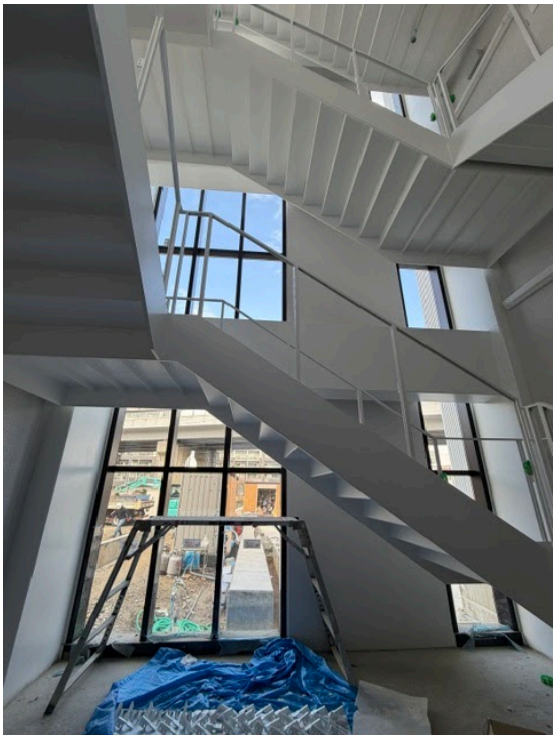


庁舎西側は、消防団車両と業務連絡車が入る車庫です。
また、訓練用のはしごも設置されました。

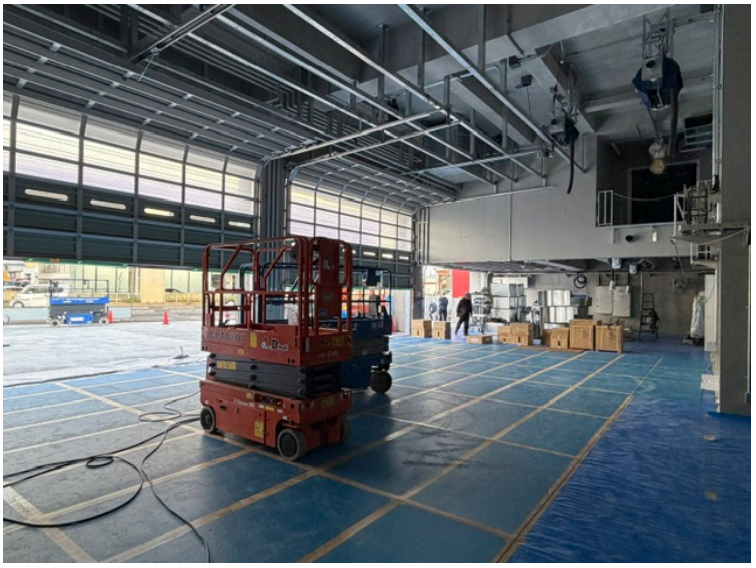


こちらは庁舎南側（裏側）の職員通用口になります。裏面もあっという間に出来上がってきました。

【庁舎１階の様子】



階段ホール内部の様子です。
１階から上階を見上げたアングルとなります。
純白の階段は、地域を明るく見守るクリーンな消防のイメージと美しく重なり合います。



こちらは、出来上がりが近づいてきた、消防車や救急車が入る車庫の様子です。

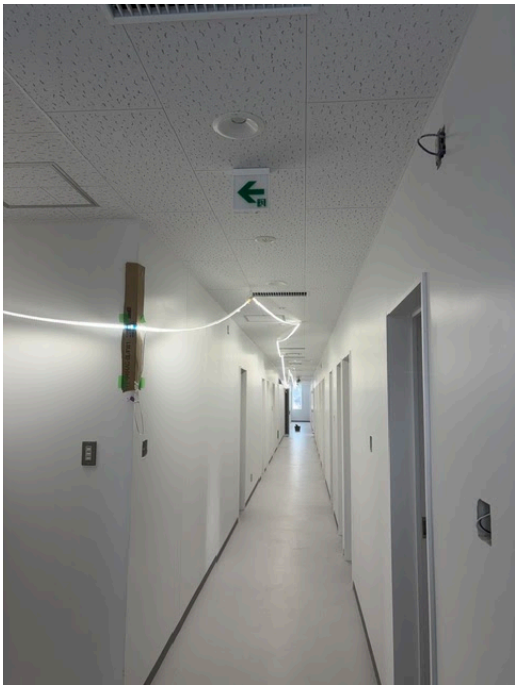


こちらは、車庫内にあるエアーコンプレッサーの機械になります。

【庁舎２階の様子】



庁舎内にある訓練室内部の様子です。ここではホースから水を出したり、可変式のパーテーションを設置して訓練できる造りになっています。



こちらは両側に仮眠室が配置された廊下の様子です。全体が白を基調とした内装に統一され、明るく清潔感のある空間に仕上がっています。



こちらは仮眠室と同じフロアにある洗面室になります。
ここは男性職員用で、もちろん女性専用の洗面室も完備しています。

【庁舎３階の様子】



　事務室も工事が進んでます。床のタイルが施工され、署長室（左側）のパーテーションも設置されました。



　手前側は個人用の事務用品や資料を保管ボックスとなります。
　奥側は、台帳や資料などを保管する書庫になります。



　写真にある2枚のボードは、可動式ホワイトボードで、大規模災害発生時に情報共有板として大きな効果を発揮しそうです。



署長室の拡大写真と、隣接の給湯コーナーの様子になります。



こちらは、事務室の隣にある待機室（24時間勤務の職員用の食事をしたり、休憩をしたりする部屋）になります。
建具が少しずつ入ってきてます。水回りの設備はこれからですね。



3階にはバリアフリートイレが設置されています。

こちらはバリアフリー法（通称）で一定規模以上の建物を新築または増改築する場合に設置が義務付けられています。

ここのトイレには、車いす対応スペース、手すり、オストメイト、乳幼児・介助用設備、緊急通報ボタンが設置されています。

【庁舎４階の様子】



講堂を2つに分割できる可動式パーテーションや天吊り型プロジェクターの設置が完了し、講堂の完成も間近に迫っていますね。



こちらは4階ホールから見た講堂の様子です。



こちらは講堂の前室部分に設置している避難器具になります。